

平成25年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府  
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースB日程入学試験第2次選抜

# 公法系科目

時間 9:30～11:45

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で3枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～3の3つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。なお、解答用紙が足りなくなった場合は、解答用紙の追加分を渡しますので、監督者に挙手で合図してください。解答用紙の追加分を使用する場合は必ず、上段の問題番号記載欄に、対応する問題番号を記入してください。
9. 試験時間は、135分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の3問、問題1から問題3にすべて解答せよ。

(配点：全問とも各50点)

### 問題1

司法権の限界に関連して、衆議院の解散の有効性が争われた訴訟（最大判昭和35年6月8日）と日米安全保障条約に基づく外国軍隊の駐留の合憲性が争われた訴訟（最大判昭和34年12月16日）とを対比しつつ、はじめに司法権の限界に関する考え方を示した上で、両訴訟における最高裁判所の判断の特色について論じなさい。

### 問題2

Yは、宗教Aの熱心な信者である。宗教Aでは、年に一度の祭礼の日に当該宗教施設に信者が集まり、全員で大麻を吸引してトランス状態になり、神の声を聞くことが重要な宗教行事であり、信者は当然にこれを行なうこととされていた。

2012年の祭礼の日に信者が施設近辺に集まり出したところ、警察が一斉に持ち物検査を行ない、ほぼ全ての信者が大麻所持罪（大麻取締法24条の2。法定刑は5年以下の懲役）で逮捕され、所持量が多く、長年の信者であるYらが同罪で起訴された。

法廷においてYのなすべき憲法上の主張を示し、あなたの結論を述べなさい。

(刑事法学上の議論をする必要は、特にありません。)

### 問題3

わが国の行政法学上語られる「法律による行政の原理」について、この原理はさらに3つの基本原則によって構成されるという考え方に立って説明しなさい。

この3つの基本原則のうち、特に「法律の留保の原則」については、この原則でいう「法律」とはどのような法律の定めをいうのか、行政に対してどのように関わりを有するかという観点からこの原則でいう「法律」を3つに分類したうえで説明し、さらに、この原則の適用範囲について複数の考え方をとりあげて論じなさい。